

大正五～九年、多くの方々が本堂建立に向けて寄付をして下さいました。『旭川別院百年史』をもとに、当時飢饉で厳しい生活を強いられていたにもかかわらず、本堂建立にご尽力下さった方々のお名前を介したいと思ひます。

※今回だけでは書ききれませんので、数回に分けて記載します。

※当時の佛具と現在の佛具の値段を比較すると、当時の壹円は今では壹万円に相当する事が解りました。

一金壹百五拾円也 杉谷 トセ
 一金壹百五拾円也 小城 五平
 一金壹百五拾円也 沢田 他作
 一金壹百五拾円也 西嶋 耕二郎
 一金壹百五拾円也 豊岡 重右工門
 一金壹百五拾円也 片岡 亥三郎
 一金壹百五拾円也 宮本 豊蔵
 一金壹百五拾円也 稲木 甚平
 一金壹百五拾円也 柴田 磯五郎
 一金壹百五拾円也 山野 乙松
 一金壹百五拾円也 滝野 常吉
 一金壹百五拾円也 盛光 佐一
 一金壹百五拾円也 岩木 岩太郎
 一金壹百五拾円也 前田 伊之松
 一金壹百五拾円也 中島 光太郎
 一金壹百五拾円也 谷口 玉吉
 一金壹百五拾円也 府録 定治郎
 一金壹百五拾円也 加藤 岩松
 一金壹百五拾円也 石倉 弥四郎
 一金壹百五拾円也 紙谷 庄太郎
 一金壹百五拾円也 伊藤 茂左工門
 一金壹百五拾円也 三輪 米太郎
 一金壹百五拾円也 小松 与治右工門
 一金壹百五拾円也 吉川 巳之助
 一金壹百五拾円也 笹岡 幸蔵

一金壹百五拾円也 塗谷 久太郎
 一金壹百五拾円也 佐藤 ミサ
 一金壹百五拾円也 浅香 久松
 一金壹百五拾円也 山本 駒治郎
 一金壹百五拾円也 寺田 嘉一郎
 一金壹百五拾円也 小林 嘉助
 一金壹百五拾円也 岡田 宇太郎
 一金壹百五拾円也 柴田 源平
 一金壹百五拾円也 福村 常治郎
 一金壹百五拾円也 竹田 定吉
 一金壹百五拾円也 架谷 寅治郎
 一金壹百五拾円也 中河 徳右工門
 一金壹百五拾円也 西田 巳之助
 一金壹百五拾円也 佐竹 孫三郎
 一金壹百五拾円也 坂口 彦八
 一金壹百五拾円也 嶋影 留次
 一金壹百五拾円也 河原 千松
 一金壹百五拾円也 宮村 弥三郎
 一金壹百五拾円也 澤田 八次郎
 一金壹百五拾円也 中嶋 政八
 一金壹百五拾円也 上楽 浅治郎
 一金壹百五拾円也 清水 源太郎
 一金壹百五拾円也 堀川 磯吉
 一金壹百五拾円也 池田 仁三

旭川別院・宗祖親鸞聖人750回御遠忌記念
本堂等改修工事施工
 期間：2010年秋～2012年秋

次回もお楽しみに(^_^)!

調査員：草部・垣原・横井よ・高橋
 平成22年7月1日制作

別院しらべ隊

調査報告書No.7 声を聞く

別院しらべ隊では、今年の1月より本堂をはじめ大門等について調査させていただきました。

真宗大谷派旭川別院は、1920年（大正9年）に本堂・大門が建立してから今日までの約90年間、道北地区にある寺院の中心として、又ご門徒の念仏道場として私たちを支え続けて下さいました。

私達の迷い・苦しみから救われてほしいという先達の願いや想いの形が「お寺」であり、今私達に相続されているのです。その「願い・想い」を一人でも多くの御門徒さんに深く知っていただきたく、この「別院しらべ隊」が結成されました。調査を進めていくうちに改修の必要な個所が多々見つかかり、本紙でも報告させていただいています。

みなさん御存じの通り、来年（2011年）には宗祖親鸞聖人750回御遠忌法要が御本山にて厳修されます。又旭川別院での御遠忌法要については、「本堂等改修工事(2010年秋より2012年秋まで)」の後、2013年を目処に話し合いが進められています。私達が今、宗祖親鸞聖人・先達の願いに込めていけるのであれば、先達の願いを受け止め、先達の願い・想いと共にこの「旭川別院」を後世に残していきたいものです。

このしらべ隊をご覧になった方々より、「いつ直すのですか」「本堂はこのままだったらどうなるのですか」という声を聞かせていただいています。こういったみなさんの声こそが、先達の願いに込めているのではないのでしょうか。

みなさんとの「かけはし」として私たちはこれからも調査報告させていただきます。

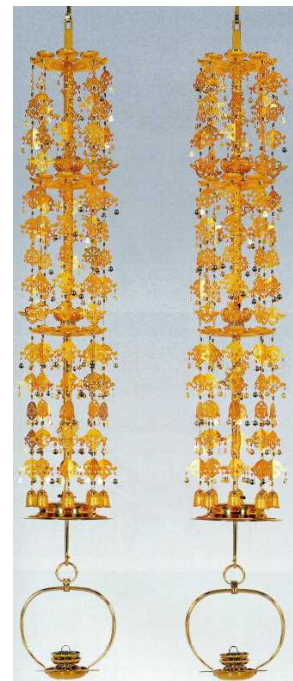


旭川別院本堂仏具寄進 (大正九年) No.1

- ① 中尊前用耳口形深彫入五具足 壺組
- ② 金式百貳拾円也
- ③ 雲井 ワナ

- ① 祖師前五具足
- ② 金壺百貳拾五円也
- ③ 浅野 くに

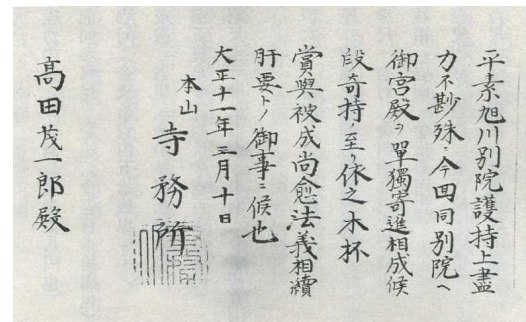
- ① 御代前同参具足
- ② 金壺百参拾円也
- ③ 高田 大末



- ① 中尊用輪灯瓔珞 壺対
- ② 金参百六拾五円也
- ③ 笠原 倫藤

- ① 祖師前用輪灯瓔珞 壺対
- ② 金壺百六拾五円也
- ③ 東海林 吉四郎

- ① 御輪灯壺尺五寸 壺対
- ② 金壺百七拾五円也
- ③ 善浪 善太郎



※旭川別院百年史によると、京都東本願寺より高田茂一郎様に感謝状が贈られています。



- ① 御本尊宮殿及須弥壇 壺建
- ② 金式千参百五拾円也
- ③ 高田 茂一郎



- ① 九重座台の台
- ② 金参拾八円也
- ③ 大谷 岩太郎

- ① 御台座
- ② 四百参拾円也
- ③ 大谷 岩太郎



- ① 香盒四寸 壺個
- ② 金七円也
- ③ 金津 大け

- ① 香盒五寸 壺個
- ② 金七円貳拾銭也
- ③ 中谷 勝五郎

- ① 香盒五寸 壺個
- ② 金七円貳拾銭也
- ③ 石田 徳太郎

- ① 香盒六寸 壺個
- ② 金九円也
- ③ 松井 (名字のみ記載)

※ 当時の佛具と現在の佛具の値段を比較すると、当時の壺円は今では壺万円に相当する事が解りました。

～ ～ ～ 見方 ～ ～ ～

- ① 寄進して下さった仏具名
- ② 大正九年当時の金額
- ③ 寄進者名 (敬称略)